ゆみこの議員活動報告書

2020.8.5 19

もくじ

自然の力と人の力
コロナ禍での経済政策
・上坂町長の考えは?
・宮下が町の経営者なら
知恵を出し合う仕組み
月形で暮らす

◀ ホームページ https://yumiko3.net/
E メール yumiko3@mac.com ▶

〒061 - 0512 月形町市南 4
☎ fax 0126-53-2611 携帯 090-7646-3837

発行日　2020年 8 月 5 日　発行人　宮下裕美子

もう８月！

夏まつりも花火もなく、学校の夏休みも短くなって、例年とは違う暦に頭が追いついていません。それでも自然はいつも通り。草木は青々と茂り、水田は風に波打ち、鳥の声が響き渡っています。もう８月なんですね。みなさん、調子はいかがですか？

私はこの１ヶ月ほど連日農作業に追われ、活動報告書 19 も予定より５日遅れの発行になってしまいました。この時期は体力勝負の踏ん張り時、いつもと同じように仕事ができる幸せを、いつも以上に噛みしめている私です。

さて、活動報告書 19 では「コロナ禍での経済政策」を考えてみました。みなさんの感想やご意見をお待ちしています。もちろん、サポーターやボランティアも♪　気軽にお声かけください。

自然の力と人の力

７月は全国各地で豪雨災害が発生しました。亡くなられた多くの方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

自然の猛威はどうすることもできないけれど、後始末や立て直しは「人の力」。国や自治体にはこの場面にこそ大胆に税金を投入して、迅速な復旧復興に繋げて欲しいです。明日は我が身、月形町も「災害時に活きるネットワークづくり」と日頃からの「情報発信」が必要だと強く感じています。お互いさまの関係を築くには「身近な存在」であることが、いの一番ですから。

そして再びコロナ感染拡大。人口密度の高い都市部が中心とは言え、地方への広がりに備えるためにも今一度、対策の基本を復習しましょう。

３密（密集・密接・密閉）回避、人前でのマスク着用、手洗い！

私は、コロナ禍の今を起点に「お金の産み方・使い方（＝経済活動）が大きく変わる」と考えています。一時的な変化ではなく「新しい時代に入った」感覚です。この変化、月形で暮らす生活者としてはそれほど感じないのですが、花農家の経営者としては「変化の渦」に揉まれている感じ。コロナ禍による影響を肌身で感じた危機感の表れかもしれません。

上坂町長はどう考えている？

では、月形町の経営者である上坂町長はどう考えているのでしょうか？

月形町は、農業を基幹産業としつつも「地方が潤うには観光だ！」という時流に乗って、観光（＝月形町に来てもらう）に注力し始めたところ。組織改革で商工観光を強化し、皆楽公園一帯の再開発計画を練り、バスターミナル複合施設建設計画やJR札沼線ラストランイベント・・・など、今年度から始まった月形町総合振興計画・後期基本計画の重点プロジェクトにも掲げています。

6月定例会一般質問で松田議員から、今後の町政運営を問われた町長は「後期計画の着実な実施を中心に、これまで手掛けた政策を実現したい」と答えています。つまり、コロナ禍の前に作られた計画を見直すことなくそのまま進めるということであり、コロナ禍への危機感は薄いようです。私の感覚とは大きく違っていると感じました。

もし宮下が、月形町の経営者なら

コロナ禍で社会が変化したと考える私は、今年度実施の事業を手始めに、後期計画の早急な見直しに取り掛かります。社会が急激に変化している緊急事態の今は、何よりもスピードが大切ですから。その時のポイントは

事業の目的が現状に合致しているか
事業がそれを叶える手段になっているか

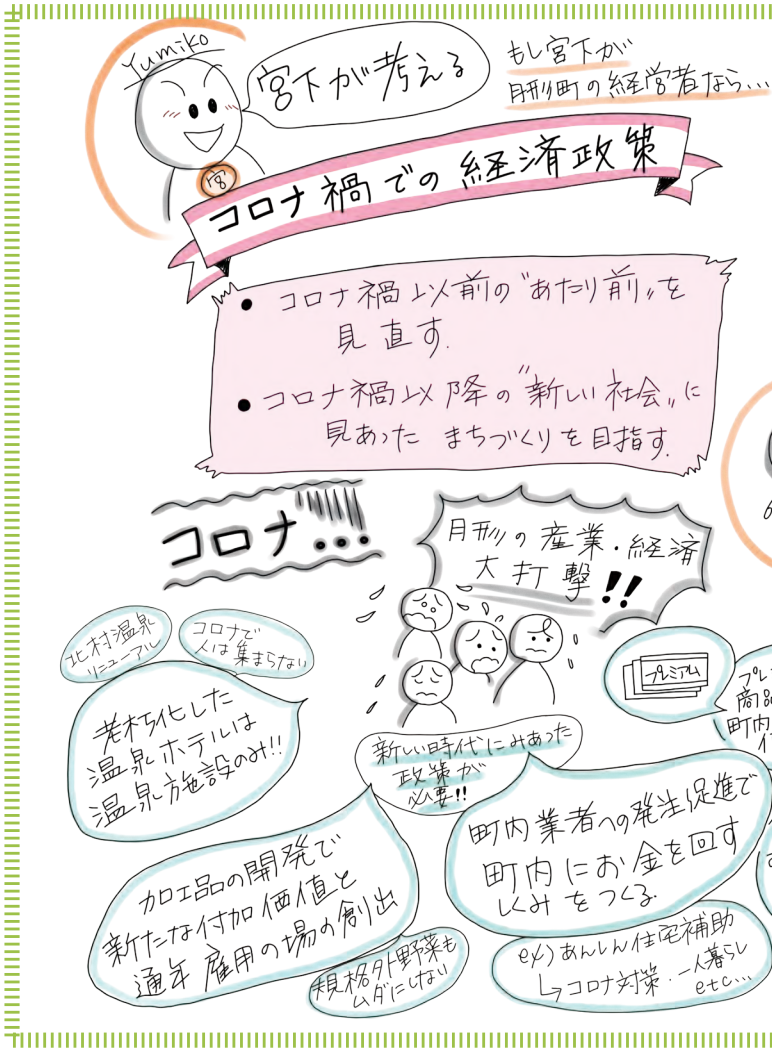
コロナ禍で大きな影響を受けた産業経済分野については、2つの方向性《町外からお金を得る》《町内でお金を回す》で事業を精査します。

例えば・・・

コロナ禍の

宿泊施設（温泉ホテル＋はな工房）の運営

宿泊施設の運営は長年先送りされてきた課題で、指定管理者である月形町振興公社の経営不振の要因でもあります。今年5月にレストランを閉鎖して、宿泊のみにしましたが・・・　今後はコロナ対策



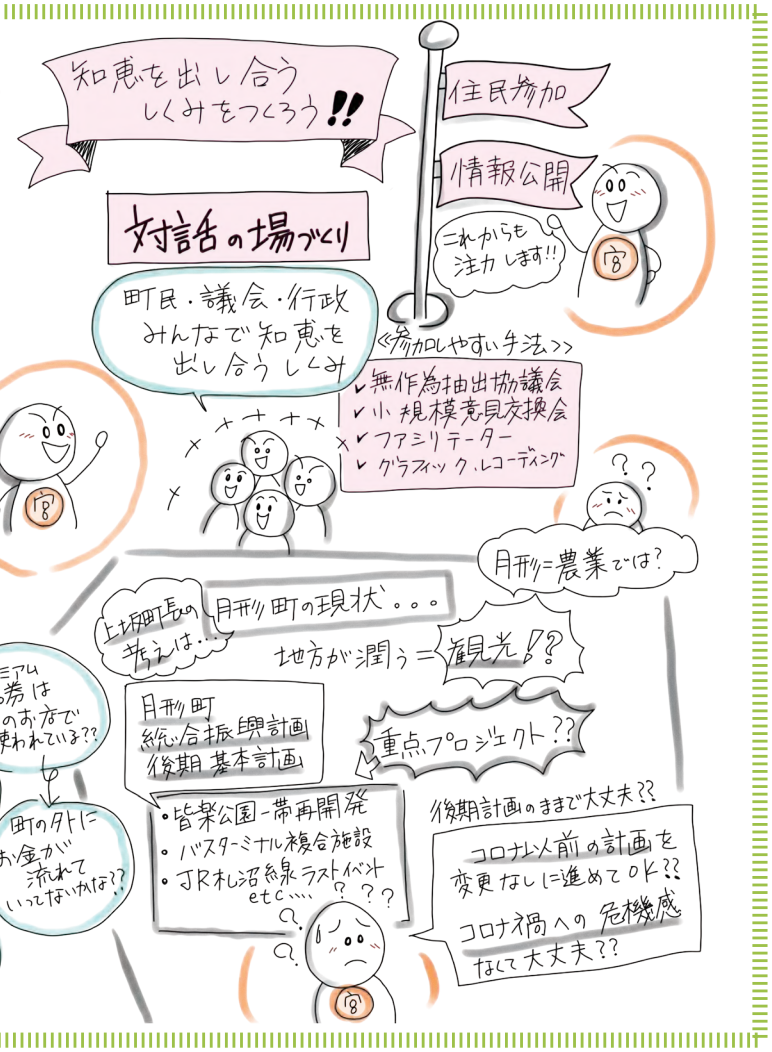
に人手と経費が必要な上、収入源の旅行者・出張・団体合宿は大幅に減るでしょう。さらに来年3月には北村温泉が大規模改修を終えてリニューアルオープン。社会状況も、周辺環境も不利な状況になっています。

宿泊施設運営の目的が「観光客を呼び込んで《町外からお金を得る》」ことなら、コロナ禍では難しいでしょう。「温泉施設のみにする」という選択もあると考えます。

の経済対策

加工品の開発／原料の調達

コロナ禍で人の移動ができない分、宅配による物品販売は盛んになっています。月形町の農産物は生鮮販売が中心で、年間を通じて《町外からお金を得る》ことが難しいので、農産物を原料にした加工品の開発が地域経済の活力になると期待しています。



現在建設中（来年度稼働）の南瓜とミニトマトの集出荷施設では、自動選別機の拡充で農家の負担を減らし、生産量の増大をめざしています。現在の計画はここまでですが、この選別の際に出てくる規格外品を加工原料にできれば《町外からお金を得る》手段が増えます。例えば急速冷凍設備を導入し、選別と同時に加工原料を一次加工して冷凍、冬期間に二次加工することで通年雇用や所得増につながると考えています。

町内事業者への発注促進

コロナ禍では「エッセンシャルワーカー：必要不可欠な仕事をする人」が注目されました。地域で暮らすために必要な仕事を担う人たちを、もっと大事にしようとする動きです。月形町内で言えば、医療・介護・ゴミ収集・生活必需品販売・水道・電気・地域交通・生活全般の修繕・除雪・理美容・・・少ない人口の月形町では、町内で事業を継続している商工業関係者のほぼ全員がエッセンシャルワーカーと言えるでしょう。つまり、町内の事業者が立ち行くよう《町内でお金を回す》仕組みが重要になります。

最近はプレミアム商品券が多用されていますが、もっと目的に合致した施策と公平な配分が必要だと考えています。例えば、あんしん住宅補助対象をコロナ対策・一人暮らし対応・家事分担・省エネ・除雪関連設備等にも広げていくのはどうでしょう。

知恵を出し合う仕組み

コロナ禍という未曾有の緊急事態を乗り切るには、様々な知恵が必要です。議会と町が真摯な議論を重ねるのはもちろんのこと、町民のみなさんと対話を重ねて知恵を汲み取る仕組みが必要です。

私が期待しているのは「無作為抽出協議会」や「小規模意見交換会」などの新しい「場」、対話を引き出す「ファシリテーション」の導入、対話を見える化する「グラフィックレコーディング（＝グラレコ）」など。これらは私が学びの中で出会った手法です。今号では友人の協力を得て、文章の一部をグラレコで表現してみました。文字ばかりの活動報告書の要点が理解しやすくなったと思いませんか？

宮下ゆみこはこれからも「情報公開」と「住民参加」に注力していきます。

コロナと暮らす。月形で暮らす。

日本中、当分の間「コロナと暮らす」ことになりそうです。マスクや消毒は面倒だし、集会や宴会は気を遣うし、コロナの正体が分からないからモヤモヤした気分が続きそう。

でも・・・　月形で暮らしていると、コロナ禍が別世界の出来事のように感じたこと、ないですか？この月形の環境のおかげで、無意識にコロナ対策ができていたり、ストレスなく暮らせていたり。つまり、「コロナと暮らす」ことは、月形の良さを見いだすチャンス♪

月形にあるのは・・・

○空間。マスクをせずに仕事に励めたり、散歩中の人と畑を挟んでおしゃべりしたり。
○安心。あいさつを欠かさないから、マスク姿でも誰なのか分かって安心♪
○町内全域光回線。光も通信も混み合ってないから、スマホもパソコンもサクサク開く。
○宅配便だって郵便だって丁寧に届けてくれる。
○病院もある。デイサービスもある。独り暮らしの高齢者住宅もある。介護施設もある。
○困ったときに見てくれる“こども園”がある。学童保育所がある。子どもの居場所がある。
○普段から少人数の、地域に馴染んだ学校がある。
○食品スーパーもある。ホームセンターもある。コンビニもある。個性的な商店もある。
○修理や修繕を頼めるお店がある。職人さんがいる。
○図書館もプールもトレーニングルームも会議室も、待たずに使える。

●月形には語るものがある。美味しい農産物のこと。多種多様な花のこと。月形の始まり樺戸集治監のこと。刑務所のこと。福祉施設のこと。雪のこと・・・
●月形には子どもも大人も無邪気になれる自然がある。草木や花は摘み放題、虫は取り放題、大きな声も気兼ねなく出せる。開放された自然の中の遊び体験は五感を研ぎ澄ます。
●月形には世間がどんなに騒いでも、慌てることなく冷静に普段の暮らしを続ける素敵な爺ちゃん婆ちゃんがいる。肝の据わり具合も、旺盛な自立心も、場を和ませる茶目っ気も。いつか私もそうなりたい。

●月形には自由がある。都会の刺激が欲しくなったら、すぐに出かけていける。何かやりたいことがみつかったら自分で動けば形にできる。雰囲気にあわせたり、望みを選び取ったり、生き方を選択できる。

月形には良いところがいっぱいあるけれど、足りないところや嫌なところもあります。だから、そこをみんなで改善していきませんか？　好きな町にしていきましょう。感じた人が声をあげれば進むから、行動すれば現実や地域や社会を変えられるから。さあ、ご一緒に！

私はいつも・・・

考えたことを声に出して行動してきました。自分の心に正直に。この月形がいつまでも素敵な場所であるように。月形で暮らす人が明日への希望を持てるように。月形の素晴らしさを多くの人と分かち合えるように。月形の多様な人や姿が好きだから。

だけど私は微力です。私１人ではかけ声だけで終わりです。みなさんの力を貸してください。みなさん１人１人の１つ１つの行動が、地域を変え、社会を変えます。